

令和6年度 学校評価アンケート（記述内容）まとめ

学習（授業・テスト）について

保護者から	- 授業中、騒がしくて集中できない事があると、聞きました。その場にいないと騒がしさの程度はわかりませんが、先生方はどうお考えでしょうか。騒がしい事で、勉強する気力や意欲が削がれるのは、残念なことです。 - 課題の確認をすると授業中に時間を取っていただき提出していると報告を受けることがありますが、個人的には課題量を増やしていただき、ホームワークをすることを身に付けれるとありがたいです。課題以外に自主学習する子ならいいのですが、なかなか自主学習の癖付けに苦慮しております。 - いつも子ども達のご指導ありがとうございます。テストの際 問題用紙の不備がありロストした時間で焦りがでて公正さがないと感じました。今回は国語で2回続いてあったようです。配布前に担当の先生のみではなく、他の先生方でもダブルチェックを徹底して頂きたい、テスト当日に訂正が無いようお願いの意見です。保護者側の提出物について、不備があった際は本当に申し訳なく、先生方にはご迷惑お掛けしておりますが、子どもたちの為にもどうぞよろしくお願いします。 - 学習、テストについて 定期的に復習テストや単元テストで学力向上を目指している姿勢はよくわかります。そのやり方についてです。定期的に行われる単元テストは、毎日の勉強の確認、という意味はわかりますが、実力テスト、復習テストが終わって、またすぐ、単元テストとなると息つく暇がありません。今回、年明けすぐのテストがズレたのは、本当にホッとできる年末年始になりよいと感じます。真面目に取り組んでいる子には、復習テストや実力テストが終わって、またすぐ単元テスト、ではなくせめてその週、次週はなしにして、ホッとする時間を与える事はできないでしょうか。やっと、復習、実力テストがひと段落した、と思ったら次々と矢継ぎ早に来る単元テストに、窒息寸前の子もいます。テストがあれば、日々勉強するか、というのはまた違うのでは。やらない子は、どこまでもやらない。真面目な子はやる。やらない子の底上げは、塾で十分では、とも思えてきます。
生徒から	勉強が難しい
学校から	- 本校では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とのつながりを大切に授業づくりを推進しています。そのため、生徒各々がじっくり考える時間と、仲間と話し合い学び合う時間を授業の中に設けています。現状ではどのクラス・授業でも、子どもたちの学びが著しく阻害される状況にはないと認識していますが、生徒が授業の規律を守りながらも自由に意見を交わすことができる、メリハリのある授業づくりに引き続き努めます。 - 家庭学習については、生徒がより自主的に学習に取り組めるように精査して課題を出すように努めています。一方で、今回の「学校評価アンケート結果」からは、家庭学習についてまだまだ課題があることが分かりました。生徒にとって家庭学習が、自主的に学びを進めるための手段となるよう、より検討を重ねます。 - テストについて、出題する問題に不備がないように同教科の教員同士でのダブルチェックの実施をはじめ、細心の注意を払い作成しています。それに関わらず、生徒や保護者の皆さんに不安や心配な気持ちを抱かせることになり、大変申し訳ありません。引き続き、極力不備がないように確認を続けてまいります。 - テストの回数や間隔についてご意見をいただきました。本校では、授業で学んだ学力の定着を単元テストで確認し、定期的に行う復習テストで複数の単元に渡る学力の定着状況を確認しています。年間のテストの実施時期についても、さまざまな学校行事とお子様の負担とのバランスも考えた上で適切に設定するよう、さらなる見直しを進めます。また、よりよい評価のあり方につきましても、授業改善と併せてさらに検討、改善に努めていきます。

生活面について

保護者から

- ・ 三年生の大切な時期にとっても親身になって頂ける先生が担任でとても安心して過ごせています。
- ・ いつもお世話になっております。1年生のときは不安定な時期もありましたが、学級、学年、部活動、さまざまな先生方に関わっていただき支えていただいて、楽しく学校生活を送ることができております。毎日嫌がることなく学校に登校できることを、大変ありがたく感じています。感謝の気持ちでいっぱいです。卒業までよろしく願います。
- ・ おかげさまで楽しい中学校生活を過ごしております。ありがとうございます。先生方もご無理なさらずに。
- ・ いつも子ども達を第一に考えていただき、ありがとうございます。地域的にも皆さん穏やかで、安心して御任せ出来ています。今後もよろしくお願いいたします。
- ・ 子どもが毎日笑顔で通学している様子に、感謝しています。あと1年、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 子どもに寄り添ってもらえて、有り難く思います。学校の方での配慮もあり、子どもも無事に登校できています。こちらが心配に思う事も、丁寧に対応していただいて不安が和らぎます。
- ・ 親身になってくださる先生方ばかりで感謝しかありません。新しいことにチャレンジされていいと思います。
- ・ 3年生の先生方には、我が子が困っている時に親身に相談に乗って頂きました。部活の顧問の先生には、外部でやっているスポーツと両方楽しめるように配慮して頂きました。たくさんの先生方のお陰で、学校生活を楽しく過ごせたことに感謝しています。
- ・ 学校からの文書やお知らせなどが、アプリで配信されてよくわかります。
- ・ 懇談会について
1、2年生は、7月ともう一回、三者懇談ができないでしょうか。やはり学校祭を経て、そのあと12月ぐらいに友人関係、学習を振り返り、次年度に伝えたい事などを先生と話せる機会が欲しいです。
学校便りを校長先生がこまめに発信してくださるので、よくわかります。それに加えて、学校ホームページにさらに詳しく普段からの学校のとりくみや、子どもの様子が書かれている事を、私自身が、ホームページの存在をすっかり忘れていて、日々見る事をしていないです。学校便りは、シーラーニングで発信力があり、よく目を通すけど、実はホームページの方が日々の姿は写真が詳しく掲載され、よくわかります。他の人は見ているのでしょうか？シーラーニングとホームページが連動して発信力があれば、(ホームページもご覧ください、とはあるが)何も話さない思春期の難しい子どもの姿が、学校を通して、よりわかると感じました。これから、ホームページの存在を併せて見たいと、思います。
- ・ 前置きとして、子ども達の話しか聞いてないのでわかりませんが、何名かの先生から、思い違いで注意を受けることや一方的に否定や指摘をされるといった指導を他の生徒の前でされて不安や不快な経験をしたということが複数回あるようです。他の生徒も同じような経験があると聞きました。指導する側もされる側も人間です。思い違いや誤解もあるかとは思いますが、一方的、高圧的に指導するというのは、生徒たちにとっては不快な思いしか残りません。感情ではなく、状況を正しく把握して、冷静に指導、対応していただきたいです。いじめまではいきませんが、嫌がらせや過度なコミュニケーションを受け、不快な思いをしている生徒が複数いると聞きました。ないと思っていても、あります。以前からの学校の対応も、親としては腑に落ちない件もありました。該当親子、生徒だけでなく、最低限該当学年の保護者に対してきちんと説明する機会があると、不信感や不安感をもったり、変な噂を聞いたりということがなくなるのではと感じています。

生徒から	・ いじめのない学校にしたい。 ・ いじめ当たり前のように起きていると思います ・ 人の髪型をあだ名とかをつけてからかうのはよくないと思う。 ・ 人によって態度変えてる先生がいます ・ 生徒によって対応を変える先生がいるのが気になってます。 ・ 意味のわからない校則をやめてほしい。 ・ 掃除中、手抜き掃除をした人たちが、他の掃除場所に行ってぺちゃくちゃ喋ってるのが気になって掃除に集中できない。 ・ 給食の廃棄の量、電力
学校から	・ 学校全体の取組ならびに教職員に対して、多くの温かいお言葉をいただきました。お子様の健やかな成長を支えられるように、本年度も学校全体でさまざまな取組を進めてまいりました。保護者の皆様にご理解をいただき、多くの場面でお支えいただきました。感謝申し上げます。 ・ 本年度、学校全体で重点的に取り組んだことの一つとして、情報発信があります。学校だより発行をはじめ、ホームページの積極的な更新に努めました。学校行事などでの生徒の様子をはじめ、普段の授業の様子などをお伝えしました。こういった取組をより広く知っていただくため、今後はホームページの更新をＣＬラーニングでお知らせすることも検討させていただきます。ＣＬラーニングによる日々のお知らせなども含め、引き続き適切かつ細やかな情報発信に努めます。 ・ 教員の対応についてご心配をおかけし、誠に申し訳ありません。本校では日頃より職員に対して、生徒理解に努め、冷静かつ適切に、また多面的な視野に立って指導にあたるように共通理解を進めております。今回ご指摘いただいたようなことがないように引き続き教員に対する指導・研修を進め、生徒一人一人の多様な生き方に対して心を寄せ、丁寧に向き合ってまいります。学校での出来事について、必要に応じてその都度ご家庭にご連絡をさせていただいておりますが、ご家庭で不安なことがございましたらぜひ学校にお尋ねください。ご理解ご協力の程、よろしくお願いします。 ・ 生徒から、いじめの不安についての意見がありました。多くの生徒が通う学校では、多様なものの考え方、価値観が共存しています。時には互いにそれを受け入れられず、トラブルに発展してしまうこともあります。それらをできるだけ未然に防ぐために、年６回の生活アンケートや教育相談、毎日の心と体のアンケートといった機会を最大限活用しながらも、引き続き日々の生徒の様子を丁寧に見守ってまいります。学校として「いじめは絶対に許さない」という姿勢を常に教師・生徒で共有しつつ、学校と家庭が連携して生徒を見守っていけるように、必要に応じて連絡させていただきます。ご家庭でお子様についてお気づきのことや不安に思われることがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。 ・ 生徒の意見に、校則の見直しに関するものがありました。生徒議会を通じて、生徒自身が議論を重ね、自分たちでルールづくりが進められるよう、自治的に活動できる力をさらに育てるよう努めます。気になる校則があれば、ぜひ生徒間での議論を積極的に進めてください。 ・ 生徒の意見に、掃除に真剣に向き合えていない仲間がいるというものがありました。自分たちが過ごす学校という場所を自分たちできれいに保つことができるように、清掃活動に向かう意識づけを図るとともに、どの生徒もやりがいを感じられるような指導を続けていきます。 ・ 生徒の意見に、給食の残量や電力についての記載がありました。学校という身近な場所を、このような視点で捉えることができるのは素晴らしいと感じます。教室だけでなく、生活の中の課題を自分事として捉え、学びを深められるような生徒の育成に、今後より一層努めます。